

平成 27 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 28 年 4 月 1 日

研究・研修課題名	平成27年度がん登録実務 中級者研修
研究・研修組織名（所属）	院内がん登録委員会
研究・研修責任者名（所属）	鈴宮 淳司 （腫瘍センター長）
共同研究・研修者名（所属）	中林 愛恵 （医療サービス課）

目的及び方法、成果の内容

①目 的

本院は、標準登録様式に基づく院内がん登録を行っており、前年度の登録件数は 1474 件でした。登録件数が 1000 件を超える施設については中級者研修を修了したものを配置することが望ましいとされており、本院は 1000 件を超えているため、中級者研修を受講する必要があります。

また、院内がん登録データは国立がんセンターに提出され、全国集計に使用されています。全国集計ではこれまでは主要 5 部位の施設毎ステージ別集計を公表されていましたが、今後は主要 5 部位以外も施設毎ステージ別集計をすると計画されており、中級者が配置されていない施設の主要 5 部位以外の施設毎ステージ別集計は公表から除外する方針ということです。本院が主要 5 部位以外の施設毎ステージ別集計の公表に加われるよう、中級者研修を受講する必要があります。

また、これまでは指導者研修の対象は初級修了者であったが、今年度から、中級修了者に変更されました。既に指導者研修は受講済みですが、指導者に求められている条件に合わせるよう、中級者研修の受講を希望しました。

②方 法

下記の研修会を受講し、認定試験を受験します。

研修会名・・・がん登録実務中級者研修

開催主体・・・独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター

受講対象・・・平成 26 年までに院内がん登録初級者研修を修了した者

院内がん登録実務 2 年以上の経験を有するか、

単独での登録症例数が 1000 例以上の登録実務経験者

施設長の推薦を受けた者

実施時期・・・平成 27 年 8 月 3 日～7 日

開催場所・・・国際研究交流会館（国立がん研究センター築地キャンパス内）

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

研修の概要・・・主要 5 部位以外の病期分類についての講義形式（演習含）の研修

認定試験・・・平成 27 年 8 月 7 日（研修会の最終日）

③成 果

病院医学教育研究助成を受けた結果、がん登録実務中級者として認定を受けました。

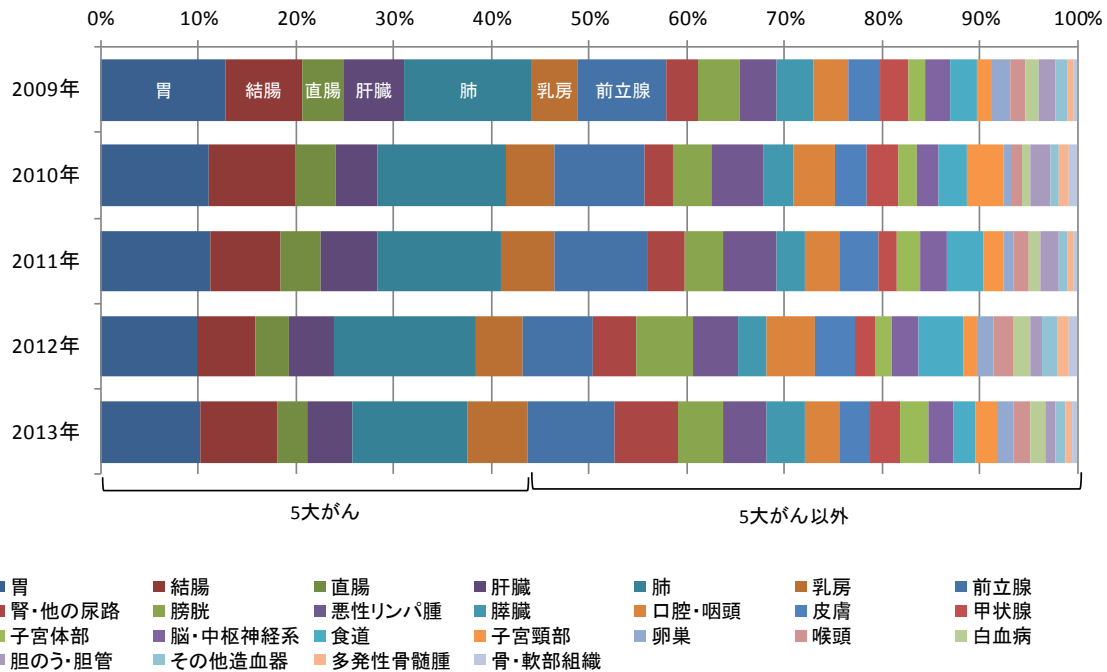
そして、本研修会で主要 5 部位以外のがんの病期分類について講義を受講し、その知識を本院の実務者で共有しました。頭頸部、咽喉・喉頭、皮膚、肛門管、尿路系、食道、小腸、虫垂、カルチノイド、GIST、男性生殖器、脳、膵臓、胆道系、婦人科系、軟部腫瘍、骨腫瘍、造血器系、悪性中皮腫、多重がんルールと、内容が多かったため、研修会受講後の 8 月から 11 月にかけて少しずつ本院実務者の間で勉強会を行いました。

また、本院が県内唯一の特定機能病院であることから、本院の 1400 件超の院内がん登録は主要 5 部位だけではなく、主要 5 部位以外のがんを少なからず登録しています。50%以上は主要 5 部位以外のがんであり、その割合は年々増加しており、その病期分類等の情報を分析することは必要と考えます。今後、国立がん研究センター全国集計で 5 部位以外について施設毎ステージ別集計を実施されるときに、公表可能なデータ精度を保つために有用な研修でした。

島根大学の部位別登録数の推移

	部位	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
5 大 が ん	胃	138	120	121	106	130
	結腸	86	95	79	63	102
	直腸	46	44	44	38	39
	肝臓	67	48	63	48	61
	肺	142	142	137	156	152
	乳房	51	53	59	52	79
	前立腺	99	100	103	77	113
	腎・他の尿路	35	31	41	47	85
	膀胱	47	42	43	62	59
	悪性リンパ腫	41	59	60	50	56
5 大 が ん 以 外	膵臓	40	33	31	32	51
	口腔・咽頭	39	46	39	52	47
	皮膚	36	34	42	45	40
	甲状腺	31	36	21	21	38
	子宮体部	19	21	25	19	37
	脳・中枢神経系	27	24	31	28	33
	食道	31	31	40	51	30
	子宮頸部	17	40	22	14	29
	卵巣	19	9	12	18	22
	喉頭	18	11	17	22	21
5 大 が ん 以 外	白血病	14	10	13	19	21
	胆のう・胆管	18	23	20	13	13
	その他造血器	14	9	8	15	12
	多発性骨髄腫	7	11	8	13	10
	骨・軟部組織	4	9	4	10	6
	その他	27	38	41	47	48

※ 症例区分8(自施設で診断も治療もしていない症例)を除く



加えて、院内がん登録実務指導者に求められる内容が高度化しており、これまでは初級者研修認定者で構わなかったのですが、実務中級認定者でないといけなくなりました。実務中級者として認定を受けたおかげで、県内実務者向けに開催している島根県がん登録研修会で、より充実して指導者としての役割を果たすことができました。

* 国立研究開発法人 国立がん研究センター

院内がん登録実務中級者 認定証 受領済 【2015年9月1日】